

大きな愛で人にやさしい

2025年 10月
ナンバー66号
帯広市議会議員
大林 愛 慶
おおほやし やすよし
後援会ニュース

第4回帯広市議会定例会が9月4日～30日まで開催。
2024年度の歳入・歳出の決算が審議され、一般会計
1015億7500万円の決算を認定いたしました。
また、25年度補正予算では、韓国への国際定期便就航に伴う、
支援・観光振興に「7400万円」、地方大学・地域産業創生交付
金の認定を受け「9500万円」の事業提案を審議・可決いたし
ました。

24年度決算討論 (要旨)

この1年間は「物価高騰」の市民生活の影響、またアメリカによる「関税政策」は世界を揺るがす大きな衝撃が発生。早急に国民生活を守るための国会議論を期待する。

日本の人口減少は、拍車がかかり、地方の出生数減・転出超過により、地域経済衰退や行政サービス低下を招くことがないよう、持続可能な活力ある地域づくりへの施策強化が必要。

昨年度は、公共施設等整備保全基金の設立、こども医療費助成の拡充、保育ICTシステムの導入、ひきこもりステーションを開設、障害者日常生活用具給付の拡大、農業基盤強化や、商品開発、物流拠点の形成など、強化を進めてきた。

人口減少・人口構造の変化に適応したまちづくりにむけ、「生活の質の向上」「夢かなえられるまち」「人と人のつながりで支えあえる地域づくり」が基盤となる。緑ヶ丘公園エリアビジョンを市民とともに作り上げていくことが重要。

職員の長時間労働には更なる改善を。

市長のこの16年間は、その時々大きなステップを築き、十勝の魅力を高めてきた。さらに奮闘いただくことを要望する。



帯広駅南での街頭宣伝活動
異常な暑さの中ですが
木陰で一息・休養です



決算審査特別委員会の 質 疑 報 告

「市職員の長時間労働の改善を」

職員の時間外労働は全体で微増傾向にあり、月100時間超える職員が83名となっています。

各部署で共助体制を行いながら時間削減を進めていますが、国の臨時的業務の増加もあり、長時間労働が解消されていません。

過労死を発生させない、心の病を発症させない
そのためにも、長時間労働の改善をさらに強化していく必要があります。



厚生委員会の質疑報告

「5歳児健診」



準備状況について質しました医療機関の体制づくり、診断後のサポート・療育体制など、まだまだ課題があります。

保健・医療・福祉・教育の各分野の支援・連携強化できる準備が重要です。

「病児・病後児保育」

市が委託している「病後児保育」は2か所、民間運営の「病児・病後児保育」は3か所で運営されています。

受け入れ定員の拡充、手続きのICT化、また、札幌で行われている

「こども緊急サポートネットワーク」事業を調査・研究し、市の実施にむけた提案を行いました。



一般質問の報告の席

2025. 6. 10

公共施設の老朽化が進み、今後十数年で30年以上経過した施設が9割となります。市でも「公共施設マネジメント計画」を作成しています。長寿命化を基本としながら、施設の多機能化・複合化を進め、人口減少・人口構造の変化に合わせ、施設総量を適正化していかなければなりません。複合化による「新たな価値づくり」や「市民への持続的サービス提供」が図られるよう市民ニーズの把握を求めました。

健康寿命の延伸と健康格差の解消を

平均寿命「男性81.05歳」「女性87.09歳」でいかに健康寿命を延伸し、自分らしく生活することができる、充実した人生を送ることが重要です。

健康格差の要因として、社会的格差・所得格差が言われており、社会環境の質の向上が求められています。

「楽しく食事をする・・・」

「睡眠は心の栄養・・・」

「運動はストレス解消・・・」心がけましょう。



帯広市地域防災訓練に参加
大空学園で段ボールベットづくり

戦後80年 今こそ平和への行動を！！

私も今年で65歳を迎えます。高校時代には「政治」に全く関心がなかった私が、郵便局に就職し、多くの先輩に「仕事や遊び・そして労働組合の大切さ」を教えてくださいました。日常密接に関わる「政治」。誰も望まない「紛争・戦争」。今世界の流れは「軍事・力の支配」が横行しています。どの国も、お互いの人権を尊重するところから「平和を！平和を！」